

第383号 令和3年9月

# 東京都農業会議情報

編集及び発行 (一社)東京都農業会議

渋谷区代々木2-10-12  
TEL 03-3370-7146

## 臨時総会を開催

### 常設審議委員に篠吉和氏を選任

都農業会議は8月18日に臨時総会を開きました。新型コロナウイルスをめぐり、役員の受けて書面で開催し、役員のみWEBで出席しました。

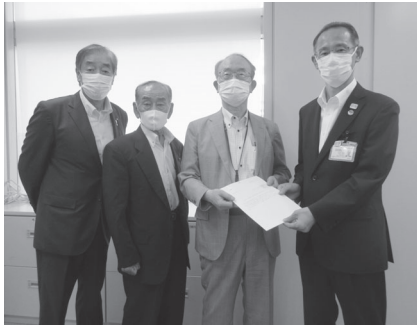
第1号議案では役員の選任が決定されました。眞利子伊知郎氏(前・東京都農業経営者クラブ会長)が理事を退任したことを受け、新たな理事

### 「東京都の農業振興・農地保全施策に関する意見」を提出

東京都農業会議

農業会議は8月18日、臨時総会で決定した「東京都の農業振興・農地保全施策に関する意見」をその日に東京都へ提出しました。

都庁を訪問した青山会長、吉川副会長、城田副会長が都の山田農林水産部長に面会して知事宛の意見書を手渡しました(意見書の内容は4ページ)。



都への意見提出(右が山田部長)

## 農業委員・農地利用最適化推進委員

### 研修会オンラインで開催

都農業会議は、9月7日(区内地区)、9日(南多摩)、14日(北多摩)、16日(西多摩)

に農業委員・農地利用最適化推進委員研修会をオンラインで開催しました。

研修会では、各地区協議会・連合会の会長の挨拶に引き続き、最初に戦前から現在までの農地制度と農業委員会制度の経過について説明しました。

この経過をふまえ、現在行

### 記事の収集方法や記事作成のコツを研究

#### 広報研究会開く

都農業会議は、このほど広報研究会を開き、各区市町農業委員会の農業委員会だより編集担当者など約60人が参加しました。

研究会では、都農業会議の角田専務理事が農業委員会活動における情報活動の重要性について説明をしました。

次に、歴史小説などを新聞等で連載する夢酔藤山氏から人を惹きつける魅力的な文章

われている農業委員会制度の検討状況や都内の農業委員会の重点活動などについて改めて確認しました。

次に、農業者の利用できる各種の社会保障制度を具体的に情報提供を行い、特に収入保険制度については全国農業共済組合連合会の担当者から東京都の保険料助成事業等について詳しく説明しました。

最後に、都農業会議で実施している各種調査の結果について報告しました。

の書き方について、長野県飯田市でミニコミ誌を発行する小林敏昭氏から記事の収集方法や記事作成のコツについて講演を行いました。

その後、羽村市の農業委員会より農業委員会だよりの取組が報告されました。

農業委員会における情報活動がますます重要になる中、効果的な情報発信を学ぶ貴重な機会となりました。

## あぜみち

艶やかな赤が美しい内藤とうがらし。西多摩の畑で6月に定植した苗が見事な実をつけた。農作業初体験。自然に頬が緩む。▼江戸時代、内藤新宿の産であった内藤とうがらしを、新宿名物として復活・普及させるプロジェクトが、農地の新しい新宿で展開されている。今年2月、日本農業賞食の架け橋の部で優秀賞を受賞した。地域を元気にする起爆剤、まさに架け橋の役を担っている。長引くコロナ禍で飲食業界とタイアップした活動は厳しい局面にあるが、10年かけて浸透した大事な活動を応援したい。▼都立瑞穂農芸高校が商品開発した「瑞穂七色唐辛子」は、内藤とうがらしと地域の特産品が原料。東京みずほブランドに認定されている。地域の産業振興を推進する若い力が頼もしい。▼とこで、懐かしい言葉を見つけた。「なないろ」。蕎麦や白菜漬けに欠かせない薬味を、子供の頃かそう呼んだ。未だに「七味唐辛子」というと、どこか気取って聞こえる。「ひ」と「し」の区別云々ではなく、「七色唐辛子」は歴とした正式名称。「なないろ」は略称だ。江戸庶民にはこちらの方がしっくりくるのだが。

## 2020年農林業センサス速報値が公表されました

6月30日に2020年農業センサスの速報値が公表されました。今回発表された数値について令和3年3月に一般社団法人東京都農業会議が発行した「令和2年度東京都の地域・区市町村別農業データブック」に反映し掲載します。

【参考】農林水産省 2020年農林業センサス

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/2020/index.html>

下線部が速報値を反映したのもの

## 東京都計

### (農業構造等のつづき)

農業経営体数	5 117 (経営体)
家族経営数	5 953
経営耕地面積規模別経営体数	5 117 (経営体)
経営耕地なし	21
0.3ha未満	1 067
0.3以上～ 0.5ha未満	1 490
0.5以上～ 1.0ha未満	1 661
1.0以上～ 1.5ha未満	520
1.5以上～ 2.0ha未満	168
2.0以上～ 3.0ha未満	86
3.0以上～ 5.0ha未満	65
5.0以上～ 10.0ha未満	30
10.0以上～ 20.0ha未満	7
20.0以上～ 30.0ha未満	1
30.0以上～ 50.0ha未満	-
50.0以上～100.0ha未満	1
1経営体あたり経営耕地面積	71.0 (a)
農産物販売金額規模別経営体数	5 117 (経営体)
農産物の販売なし	615
50万円未満	1 172
50以上～ 100万円未満	743
100以上～ 300万円未満	1 303
300以上～ 500万円未満	524
500以上～1000万円未満	491
1000以上～3000万円未満	211
3000以上～5000万円未満	36
5000以上～ 1億円未満	14
1億以上～ 2億円未満	5
2億以上～ 5億円未満	1
5億以上	2
認定農業者のいる経営体数 (令. 2)	1 681 (経営体)

### I 面積・人口

総土地面積 (令. 2)	2 194.03 (km <sup>2</sup> )
総人口 (令. 3)	12 074 509 (人)
総世帯数 (令. 3)	6 162 660 (世帯)
農地面積 (令. 元)	9 101.6 (ha)
市街化区域農地面積 (令. 2)	3 780.4
うち生産緑地面積 (令. 3)	2 972.3
市街化調整区域農地面積 (令. 2)	1 773.3
農業振興地域農用地区域面積 (平. 26)	3 779.6
相続税納税猶予制度適用農地面積 (令. 3)	1 336.3

### II 農業構造等 (2020年農業センサス)

総農家数	9 567 (戸)
販売農家数	5 623
主業農家数	1 871
65歳未満農業専従者がいる	1 708
準主業農家数	1 512
65歳未満農業専従者がいる	1 075
副業的農家数	2 240
専業農家数	2 613 (戸)
兼業農家数	3 010
第1種兼業農家数	444
第2種兼業農家数	2 566
農業就業人口	10 986 (人)
男	6 150
女	4 836
15～29歳	309
30～34	254
35～39	329
40～44	498
45～49	635
50～54	867
55～59	1 053
60～64	1 305
65～69	1 296
70～74	1 129
75～79	1 287
80～84	1 120
85歳以上	804
平均年齢	63.9 (歳)

### 東京都計

#### VI 作付延べ面積 (令. 元)

※果樹・花き・植木・グランドカバー類は「ほ場面積」

合計	6 430.5 (ha)
野菜	3 831.9
果樹	1 027.2
稲・麦類	156.7
豆類	13.5
そば・雑穀類	11.1
工芸農作物	456.5
飼料作物	98.6
花き	395.7
植木	342.0
グランドカバー類	11.8
芝	26.6
緑肥作物	59.0

#### VII 花き類の面積・出荷量 (令. 元)

品目	面積(ha)	出荷量 (千本・鉢・球)
切花・切葉・切枝	299.7	63 989
球根	0.9	1 552
鉢もの	43.6	2 385
花壇用苗もの	51.0	9 879

#### VIII 家畜飼養状況 (令. 2)

家畜	飼養頭数	
	(みつばちは、 ほう群数)	戸数
乳用牛	1 454	44
肉用牛	550	24
豚	2 030	8
採卵鶏	86 724	96
肉用鶏	9 002	5
みつばち	1 714	202

#### IX 区市町村の財政 (令. 元) ※13区除く

歳出総額	3 919 675 (百万円)
農林水産関係費	9 291
農林水産関係比率	0.237 (%)

#### III 農業産出額 (令. 元) ※植木・緑肥作物を除く

合計	27 439 (百万円)
野菜	18 916
果樹	3 742
稲・麦類	117
豆類	7
そば・雑穀類	3
工芸農作物	132
飼料作物	22
花き	3 424
グランドカバー類	1 074
芝	3

農業産出額順位 (グランドカバー類を除き掲載)

順位	品目	構成比 (%)
1位品目	トマト	11
2位品目	コマツナ	7
3位品目	ニホンナシ	6
4位品目	ナス	4
5位品目	ハウレンソウ	3

#### IV 野菜作付延べ面積順位 (令. 元)

品目	面積(ha)	収穫量(t)	産出額(百万)
コマツナ	410.9	6 988	2 018
ハウレンソウ	272.9	2 875	947
バレイショ	268.5	4 783	598
ダイコン	223.7	8 437	579
キャベツ	208.7	8 066	505
サトイモ	192.2	1 787	457
ブロッコリー	185.7	1 626	351
スイートコーン	184.6	1 547	332
ネギ	151.3	2 657	661
エダマメ	134.8	1 122	727

#### V 主要果樹面積・収穫量 (令. 元)

品目	面積(ha)	収穫量(t)	産出額(百万)
クリ	416.5	323	76
カキ	132.2	865	274
ブルーベリー	124.1	357	695
ニホンナシ	84.4	1 804	1 602
ウメ	80.0	102	24
ブドウ	41.5	311	548

### 「東京都の農業振興・農地保全施策に関する意見」要旨

都農業会議の臨時総会で決定し、都へ提出した意見書の要約は左記のとおりです。

(全文は農業会議ホームページ)の公開 <http://www.tokaiagri.com>

#### 東京都の農業振興・農地保全施策に関する意見

「あらたな局面を迎えた

#### 東京農業・農地の将来像の明確化に向けて」

1. 「東京農業を振興し、農地を守る基本条例(仮称)」の制定

都市農業振興基本法の制定から5年を迎え、実効性のある行動が求められる今こそ、都民の総意として、気候変動対策にも資する東京の農業・農地を守る姿勢を明確に宣言する基本条例を制定すること。

#### 2. 都市農地を継承するための施策の確立

(1) 2023年以降に申出基準日が到来する生産緑地への対応

(2) 生産緑地の貸借に関する相談および支援体制の強化

(3) 都市農地保全に向けた田園住居地域等の新たな指



生産した山羊チーズを解説しながら販売するあきる野市の堀周さん(右)

3. 地域の特徴をいかした農業の支援  
(1) 農業振興地域に対する独自支援策の構築

#### 都内の新規就農者の農産物をPR

都内で新規就農した者が生産した農産物が、9月10日から20日にかけて、JR立川駅の駅ビル「ルミネ立川」2階入口のコンコースで販売されました。

これは、都内の新規就農者が生産した農産物を広くPRしようと、賛同を得たルミネ立川店内に出店する飲食店の協力を得て開かれたものです。9月15日には、新規就農者

(2) 基盤整備の促進  
(3) 島しょ農業の振興

4. 有害鳥獣対策の強化  
対策の関係予算を拡充し、被害を防ぐ緊急的な対策と鳥獣の数を減らす抜本的な対策の両面で取組を強化する。

#### 永年勤続表彰・講演会を開催

東京都農業委員会職員研究会

東京都農業委員会職員研究会(岸幸夫会長)は、8月27日にJA東京南新宿ビルにて全体研究集会を開きました。

はじめに、第47回永年勤続表彰を行い、会員9人が表彰されました(下記)。

引き続き、東北地方のスーパーマーケットチェーンである株式会社マイヤ代表取締役社長の井原良幸氏から、東日本大震災後のスーパーマー

自らが販売に立ち、生産した農産物をPRしながら、料理の仕方や野菜の特長などを解説し、立ち寄りお客さんの投げかける質問に応じながら接客をしました。

#### 理事会・常設審議委員日より

##### 8月理事会

8月18日にWEBで開催。常設審議委員1名の選任と普通会員(学識経験者)の指名を決定。第2回臨時総会の開催日時及び開催方法、提出議案を決定した。

##### 第5回常設審議委員会

理事会に続いて開催。①農地法第5条に基づく農業委員会諮問、②農地転用許可の状況について報告、③農地中間管理権の取得等の状況報告。

##### 9月理事会

9月17日にWEBで開催。常設審議委員1名の選任について決定した。

##### 第6回常設審議委員会

理事会に続いて開催。①農地法第5条に基づく農業委員会諮問、②農地転用許可の状況について報告、③農地中間管理権の取得等の状況報告、④都農林総合研究センターが開発した農業スケジューリング管理アプリについて研究。

表彰者(敬称略)  
佐藤英行(板橋区) ▼篠崎努(足立区) ▼砂森かおり(江戸川区) ▼丸山誠司(あきる野市) ▼萩原健太(八王子市) ▼佐伯洋子(府中市) ▼中村法子(府中市) ▼矢吹潤平(清瀬市) ▼三沢慶太(東久留米市)

#### 10月～11月の日程

- 10・5 (火) 職務代理部会長研
- 10・15 (金) 女性農委等研修会
- 10・18 (月) 常設審議委員会
- 10・18 (月) 現地研究会
- 10・28 (木) 会長研究会
- 11・16 (火) 監査会
- 11・17 (水) 第2回事業推進協議会
- 11・17 (水) 常設審議委員会
- 11・25 (木) 年金制度推進研
- 11・26 (金) 島しょ地区職員検討会
- 11・29 (月) 活動フォーラム